

## 東京大学「共鳴型アジア環境リーダー育成プログラム」特任研究員募集

東京大学では、平成20年度科学技術振興調整費（文部科学省・科学技術振興機構）「アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進-戦略的環境リーダー育成拠点形成」として採択された「共鳴型アジア環境リーダー育成網の展開」のもとで、新領域創成科学研究科環境学研究系サステナビリティ学教育プログラム、および、工学系研究科都市工学専攻が共同で、「アジア環境リーダー育成プログラム-Asian Program for Incubation of Environmental Leaders (APIEL)」を実施しています。このプロジェクトでは、アジアの環境問題の現場における実践的演習を含む新しいカリキュラムの構築に取り組んでおり、その企画・実行のための調査研究を担当し、またプログラムの運営を補助するための特任研究員を以下の要領で募集します。

1. 募集職名 特任研究員（特定有期雇用教職員）
2. 募集人員 1名
3. 募集部署 A. 大学院新領域創成科学研究科・環境学研究系サステナビリティ学教育プログラム  
B. 大学院工学系研究科・都市工学専攻  
のいずれか
4. 勤務地 A. 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学柏キャンパス  
B. 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス  
のいずれか（いずれになるかは未定）
5. 職務内容 環境リーダー育成プログラムのカリキュラム開発に資する研究  
とくにアジアの環境問題の現場における実践的演習開発のための研究、アジア環境リーダープログラムにおける教材開発につながるような多分野融合型研究にたずさわる。数週間～数ヶ月程度海外に滞在して研究を行うこともありうる。環境リーダー育成プログラムについては、「14. 参考」のホームページを参照のこと。
6. 応募資格 環境に関連のある学術分野において博士の学位を取得した者（採用日までに博士の学位を取得見込の者を含む）、あるいはそれと同等の知識と経験を有すると認められる者  
本学の教員にふさわしい見識と能力を有すると認められる者  
なお、英語の能力を重視する。
7. 応募期限 平成22年9月20日（月）消印有効
8. 採用時期 平成22年12月1日以降なるべく早く。なお、学位取得などの理由で遅い着任を希望するものは、平成23年4月1日の着任まで認める。
9. 勤務条件 契約期間は採用年度の年度末までとするが、予算の状況及び勤務成績の評価に基づき最長平成25年3月31日まで更新の可能性あり。定年及び給与等は、本学の規定による。

10. 応募書類 履歴書 1部  
本学様式を [http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html) からダウンロードの上作成のこと。特記事項の欄に、勤務地として柏地区・本郷地区のいずれかを希望するか、どちらでも良いかを明記のこと  
業績リスト 1部 (発表論文等を含む)  
これまでの研究・教育活動実績 (A4判2枚以内)  
応募に当たっての抱負 (上記職務内容に関連するもの) 1部 (A4判2枚程度)  
所見を求めうる方2名の氏名及び連絡先  
各応募書類については、特に記載のない場合、任意の様式により、A4判とし、頁数の制限はない。
11. 選考方法 選考委員会によるものとする。書類審査のうえ、必要に応じ面接試験を行う。面接は平成22年10月7日(木)または8日(金)の17:00以降の時間を予定している。なお、応募書類は返却しない。
12. 採否の決定 個別に連絡する。
13. 問合せ・書類送付先  
〒277-8563 柏市柏の葉 5-1-5  
東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境学研究系  
社会文化環境学専攻 環境棟 668号室  
味埜 俊  
電話 04-7136-4814  
e-mail: mino アット mw.k.u-tokyo.ac.jp (アットのところは@)  
応募書類封書に「環境リーダー育成プログラム特任研究員応募書類」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと。
14. 参考 [http://www.envleader.u-tokyo.ac.jp/index\\_e.html](http://www.envleader.u-tokyo.ac.jp/index_e.html)  
<http://www.sustainability.k.u-tokyo.ac.jp/index.html>  
<http://www.env.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>
15. その他 応募書類は、本公募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。